

生活衛生関係営業の景気動向等調査結果

－2013年1～3月期－

I 景気の動向

依然として厳しく、かげりがみられる生活衛生関係営業の景況

今期(2013年1～3月期)の売上、採算、業況の各DIは、▲40.4(前期比 1.8 ポイント上昇)、▲31.8(同 9.9 ポイント低下)、▲48.9(同 20.4 ポイント低下)となりました。前年同期に対しては、売上DIは 1.9 ポイント、採算DIは 8.4 ポイント、業況DIは 2.2 ポイント低下しました。売上DIは 3期連続、採算DIは4期連続、業況DIは 13 期ぶりに前年同期を下回りました。

生活衛生関係営業の景況は、依然として厳しく、かげりがみられます。

一方、売上、業況DIの来期見通しは、▲26.8、▲3.5 となり、それぞれ 13.6 ポイント、45.4 ポイントの上昇を見込んでいます。

(注) DI= 良い(増加・黒字・好転)企業割合 - 悪い(減少・赤字・悪化)企業割合

調査時点	2013年3月上旬			
調査方法	郵送調査			
調査対象	生活衛生関係営業 3,234 企業			
有効回答企業数	2,892 企業 (回答率 89.4%)			
(業種内訳)	飲食業	1,420 企業	映画館	50 企業
	食肉・食鳥肉販売業	140 企業	ホテル・旅館業	175 企業
	氷雪販売業	51 企業	公衆浴場業	114 企業
	理容業	328 企業	クリーニング業	227 企業
	美容業	387 企業		

この調査は、全国的生活衛生関係営業の主な業種について、その景気や設備投資の動向などを把握するため、定期的に(年4回)実施しているものです。

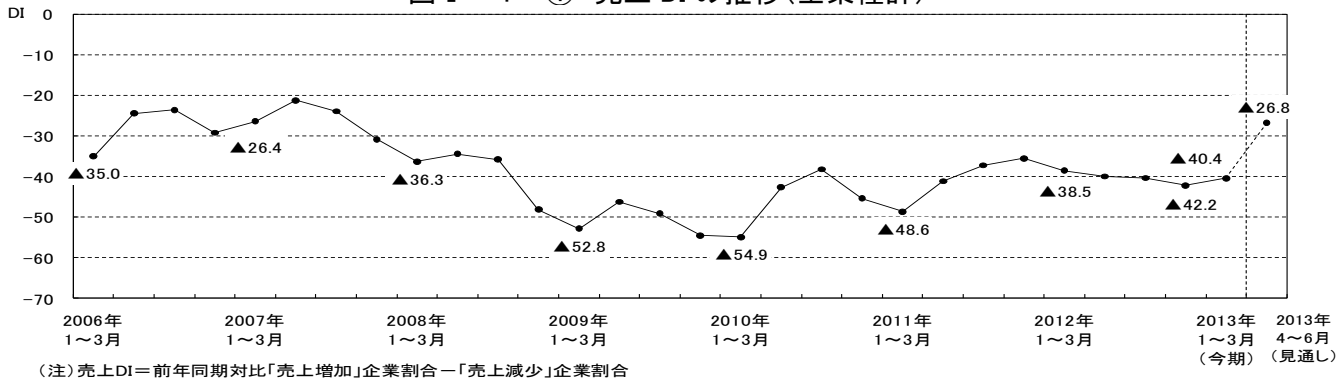
【本調査における留意事項】

- ・ 2012年4～6月期調査時点で調査対象企業の見直しが行われている。
- ・ 比率の算出にあたっては、無回答を除いたものを母数としている。

1. 売上

- 売上DIは、前期から1.8ポイント上昇して▲40.4となり、前年同期に対しては1.9ポイント下回りました。3期連続で前年同期の水準を下回りました。
来期の見通しは、▲26.8となり、13.6ポイントの上昇を見込んでいます。

図 I - 1 - ① 売上 DI の推移(全業種計)



- 業種別にみると、前期に比べ「飲食業」「冰雪販売業」「理容業」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「映画館」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」の5業種で上回りました。
来期の見通しは、全業種で上昇を見込んでいます。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「喫茶店」「その他飲食店」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「喫茶店」「その他飲食店」の3業種で上回りました。
来期の見通しは、全業種で上昇を見込んでいます。

図 I - 1 - ② 業種別売上 DI の推移(飲食業を除く)

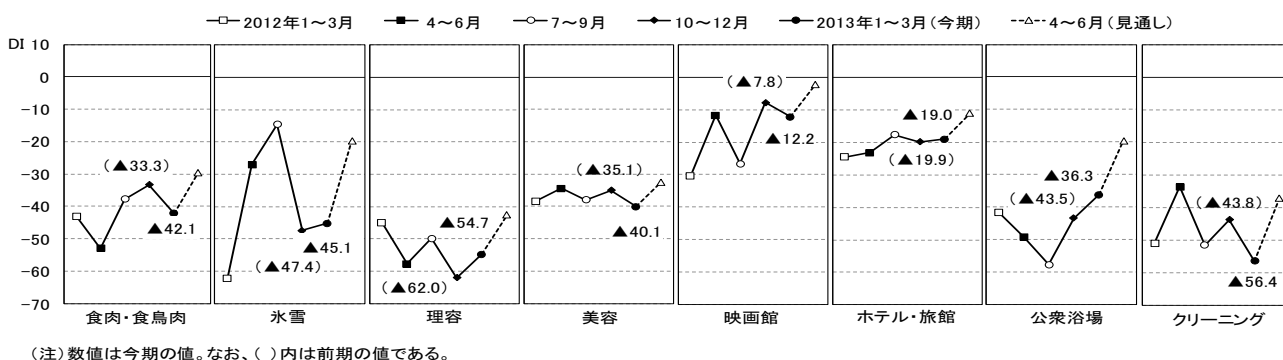
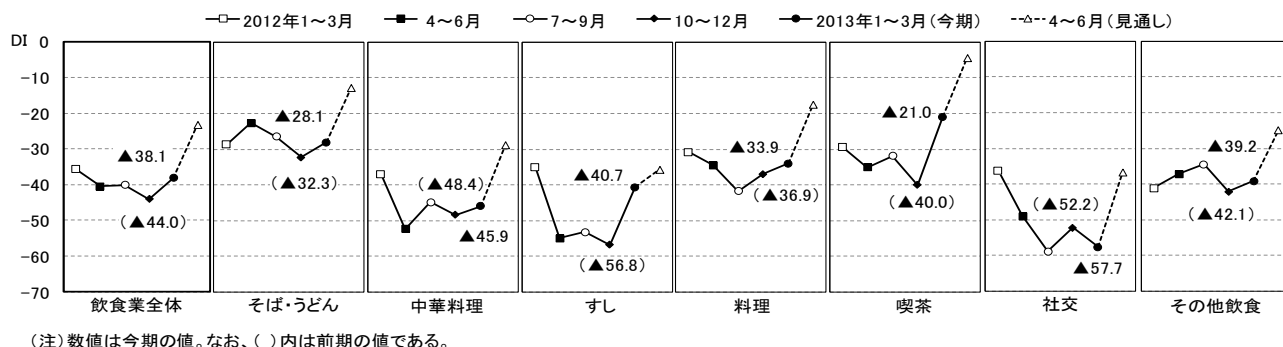


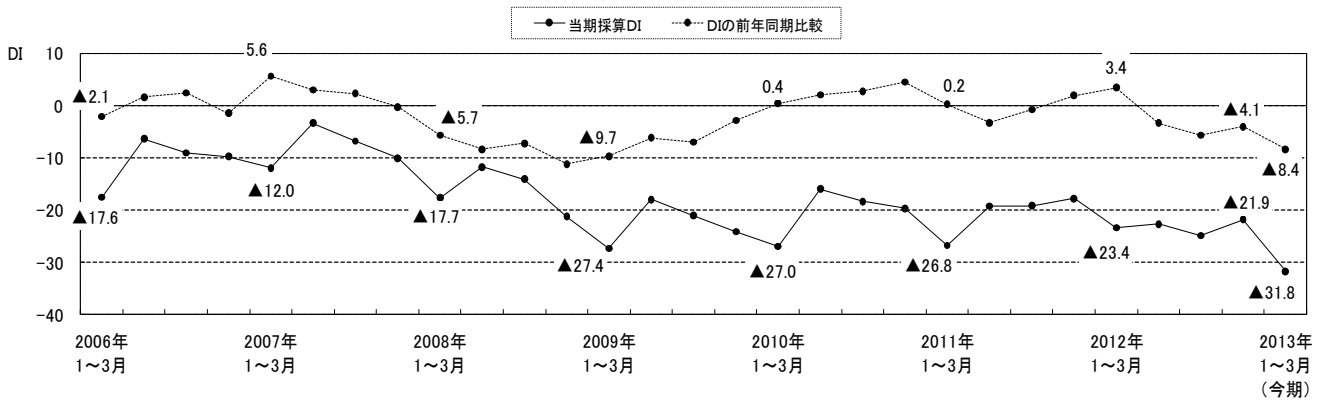
図 I - 1 - ③ 飲食業売上 DI の推移



2. 採算

- 採算DIは、前期から9.9ポイント低下して▲31.8となり、前年同期に対しては8.4ポイント低下しました。4期連続で前年同期の水準を下回りました。

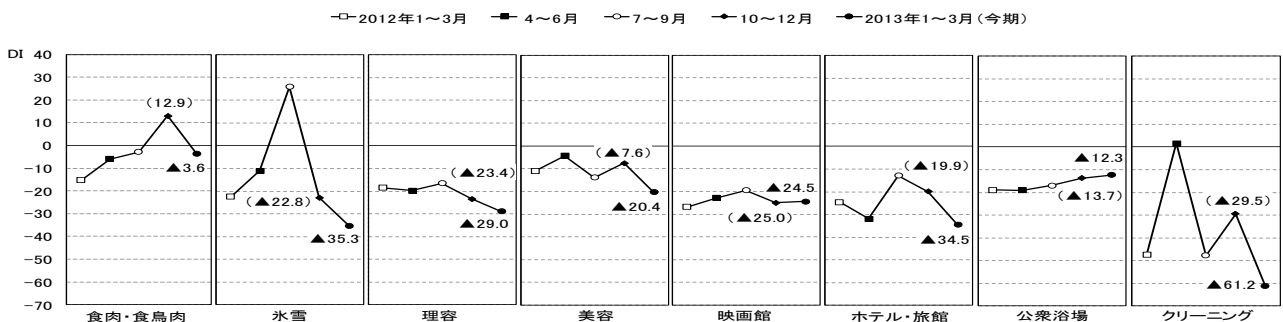
図 I-2-① 採算 DI の推移(全業種計)



(注) 1. 採算 DI = 当該期「黒字」企業割合 - 「赤字」企業割合
2. DI の前年同期比較 = 「当該期の採算 DI」 - 「その前年同期の DI」

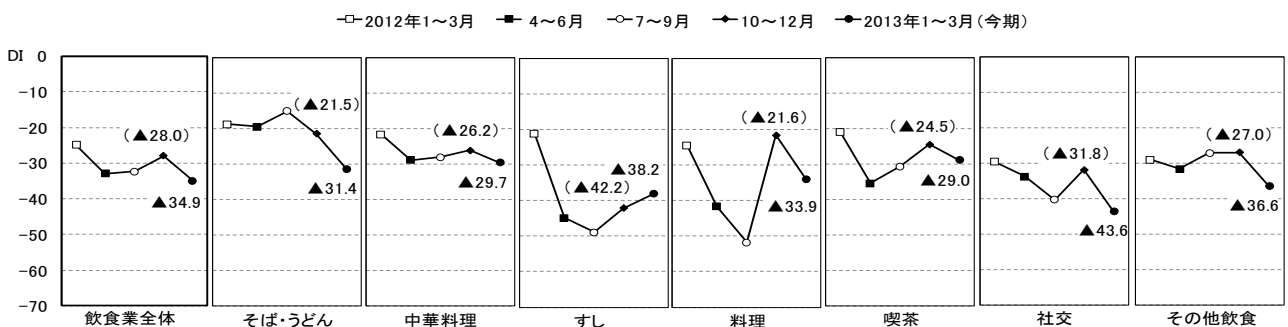
- 業種別にみると、前期に比べ「映画館」「公衆浴場業」の2業種で上昇しました。前年同期に対しては、「食肉・食鳥肉販売業」「映画館」「公衆浴場業」の3業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ「すし店」のみ上昇しました。前年同期の水準を上回った業種はありませんでした。

図 I-2-② 業種別採算 DI の推移(飲食業を除く)



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図 I-2-③ 飲食業採算 DI の推移

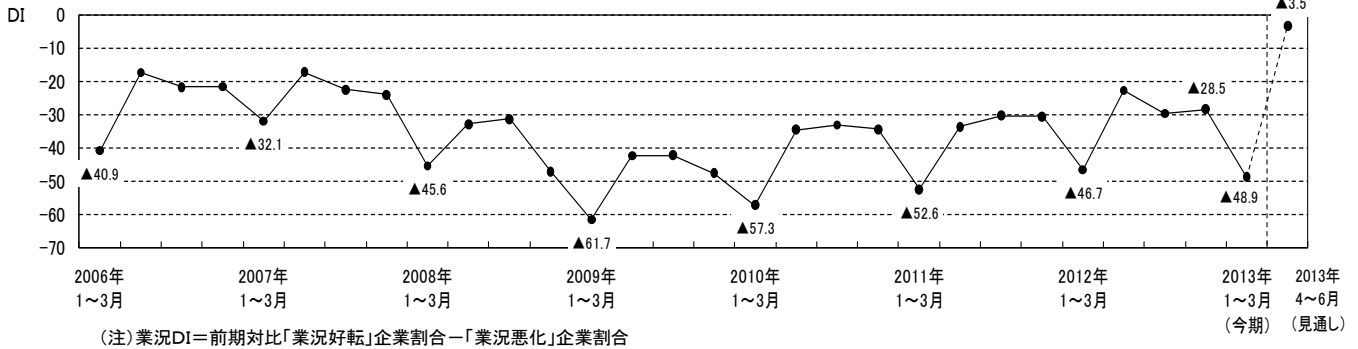


(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

3. 業況

- 業況DIは、前期から20.4ポイント低下して▲48.9となり、前年同期に対しては2.2ポイント下回りました。13期ぶりに前年同期の水準を下回りました。
来期の見通しは、▲3.5となり、45.4ポイントの上昇を見込んでいます。

図 I-3-① 業況 DI の推移(全業種計)



- 業種別にみると、前期に比べ「冰雪販売業」「映画館」「公衆浴場業」の3業種で上昇しました。前年同期に対しては、「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「映画館」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」の5業種で上回りました。
来期の見通しは、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「映画館」「ホテル・旅館業」「クリーニング業」の8業種で上昇を見込んでいます。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ「喫茶店」のみ上昇しました。前年同期に対しては、「中華料理店」「喫茶店」の2業種で上回りました。
来期の見通しは、全業種で上昇を見込んでいます。

図 I-3-② 業種別業況 DI の推移(飲食業を除く)

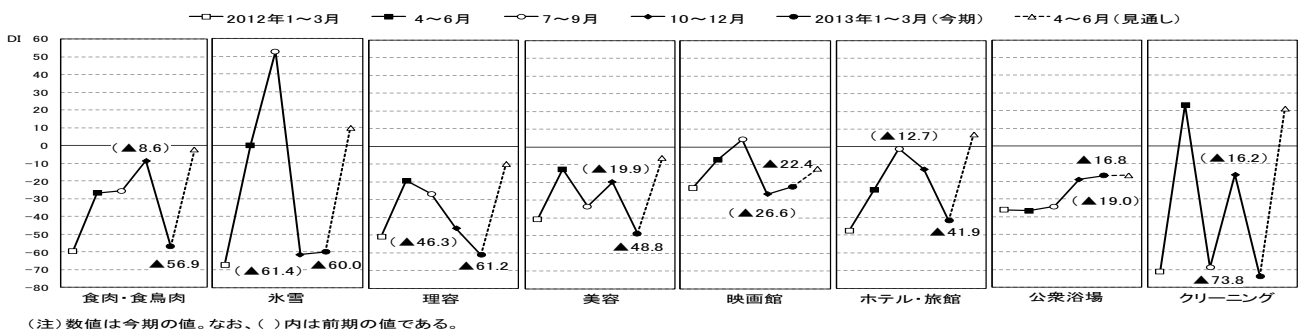
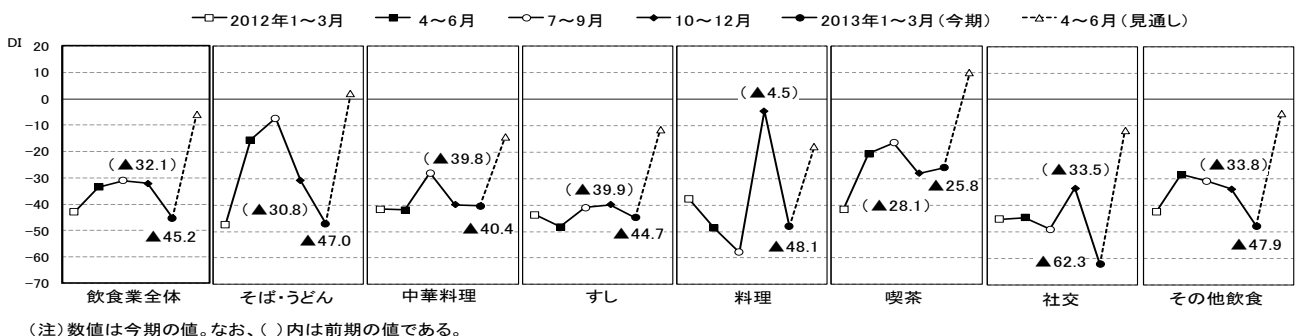


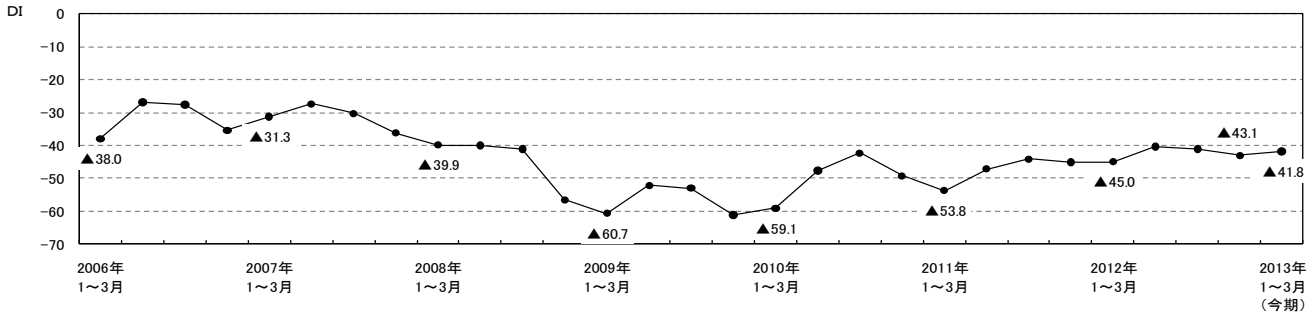
図 I-3-③ 飲食業業況 DI の推移



4. 利用客数

- 利用客数DIは、前期から1.3ポイント上昇して▲41.8となり、前年同期に対しては3.2ポイント上回りました。6期連続で前年同期の水準を上回りました。

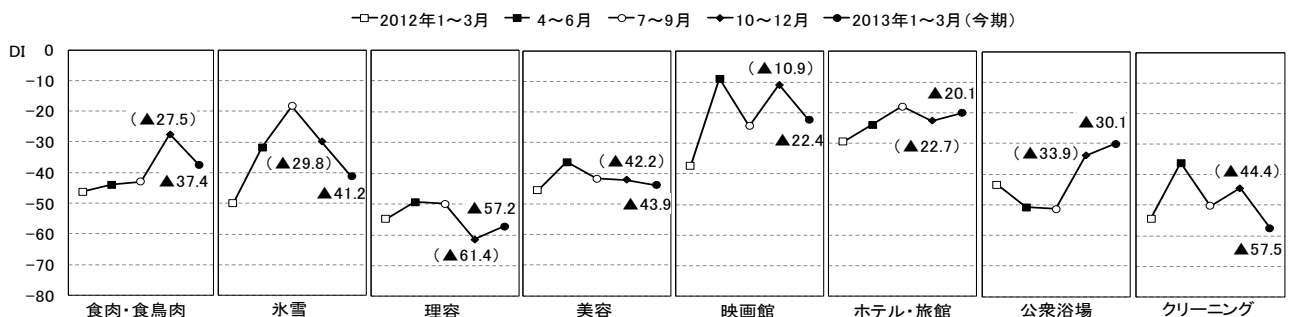
図 I - 4 - ① 利用客数 DI の推移(全業種計)



(注) 利用客数DI=前年同期対比「利用客数増加」企業割合-「利用客数減少」企業割合

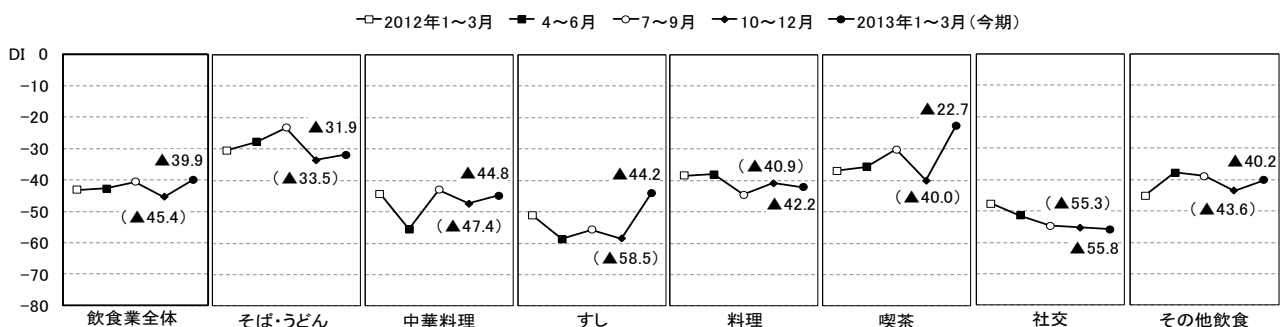
- 業種別にみると、前期に比べ、「飲食業」「理容業」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」の4業種で上昇しました。前年同期に対しては「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「美容業」「映画館」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」の7業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「喫茶店」「その他飲食店」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、「すし店」「喫茶店」「その他飲食店」の3業種で上回りました。

図 I - 4 - ② 業種別利用客数 DI の推移(飲食業を除く)



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図 I - 4 - ③ 飲食業利用客数 DI の推移

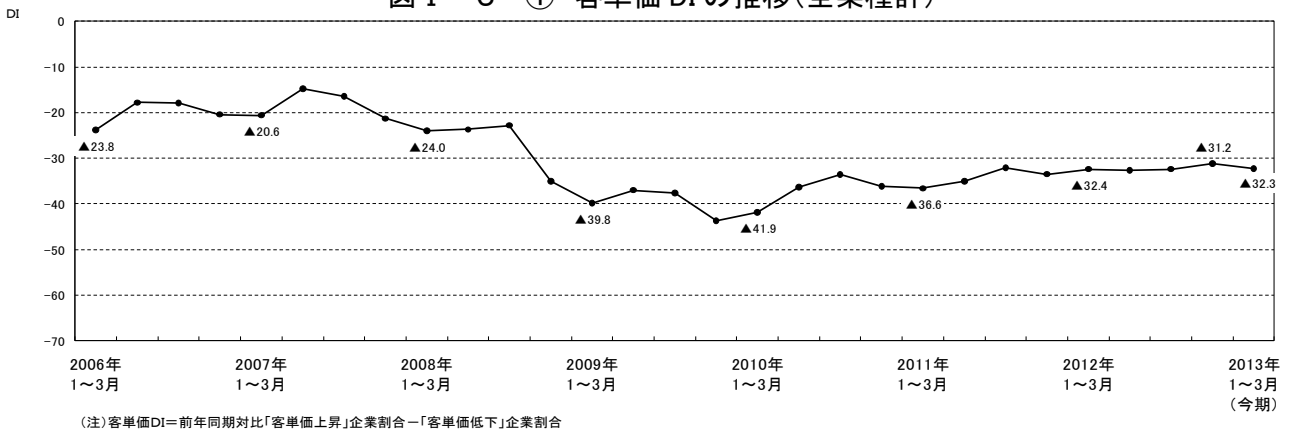


(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

5. 客単価

- 客単価DIは、前期から 1.1 ポイント低下して▲32.3 となり、前年同期に対しては横ばいとなりました。

図 I - 5 - ① 客単価 DI の推移(全業種計)



- 業種別では、前期に比べ「飲食業」「氷雪販売業」「公衆浴場業」の3業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「ホテル・旅館業」の3業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「すし店」「料理店」「喫茶店」「社交業」「その他飲食店」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「喫茶店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で上回りました。

図 I - 5 - ② 業種別客単価 DI の推移(飲食業を除く)

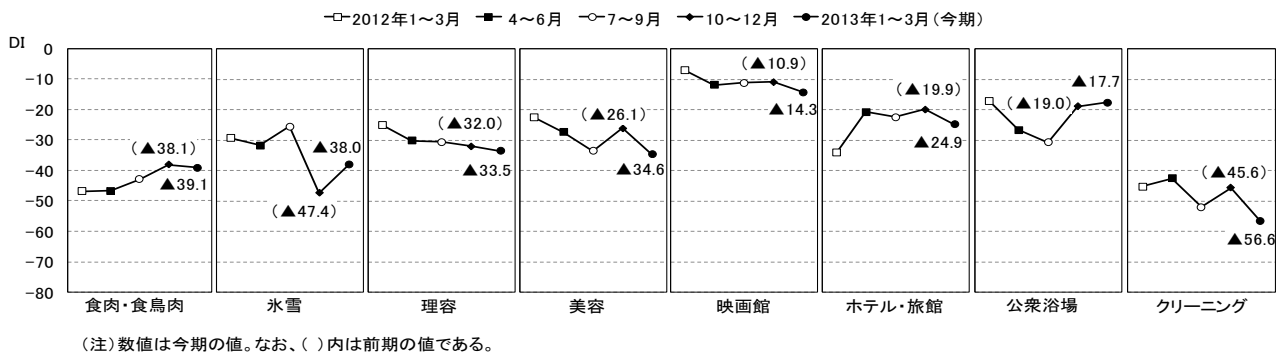
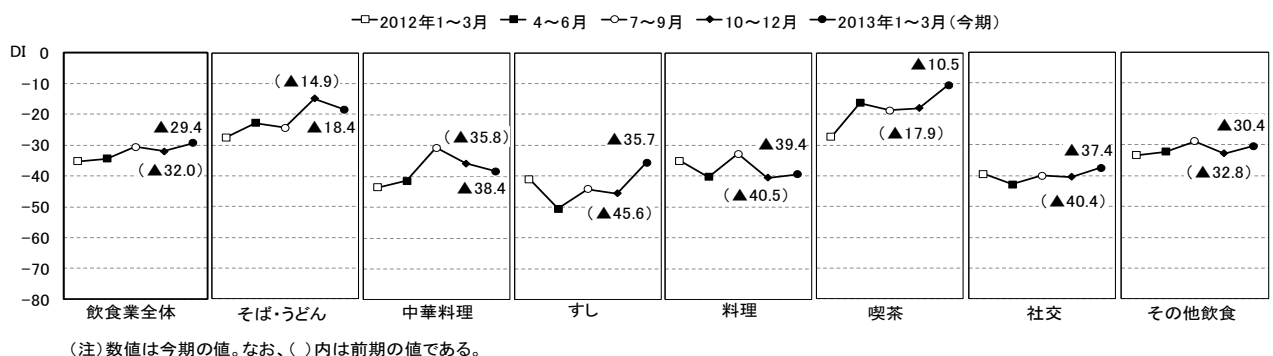


図 I - 5 - ③ 飲食業客単価 DI の推移



Ⅱ 設備投資の動向

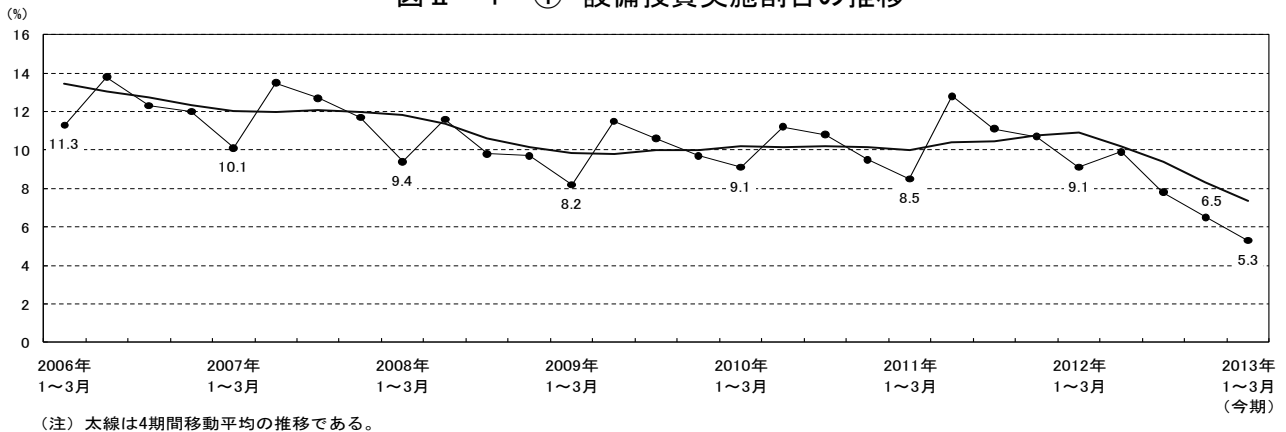
1. 設備投資の実施状況

(1) 設備投資の状況

今期(2013年1～3月期)に設備投資を行った企業の割合は5.3%と前期(6.5%)に比べ1.2ポイント低下し、前年同期(9.1%)に対しても3.8ポイント低下しました。

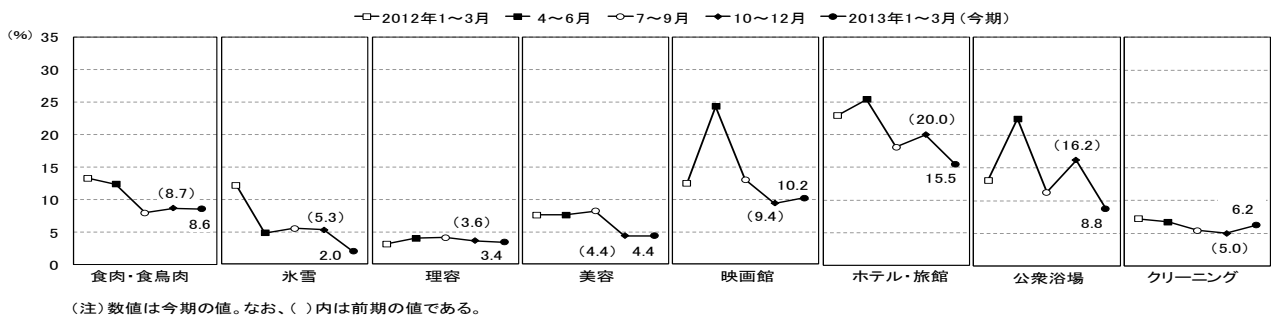
生活衛生関係営業の設備投資は、依然として低い水準となっています。

図Ⅱ-1-① 設備投資実施割合の推移

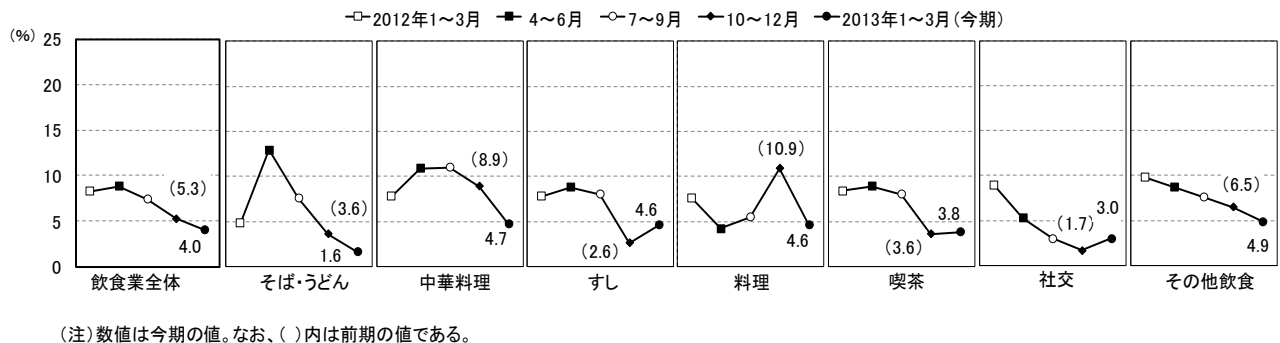


- 設備投資を実施した割合を業種別に高い順に見ると、「ホテル・旅館業」15.5%、「映画館」10.2%、「公衆浴場業」8.8%となっています。前年同期の水準を上回った業種は「理容業」のみでした。
- 飲食業の業種別に設備投資を実施した割合を高い順にみると、「その他飲食店」4.9%、「中華料理店」4.7%、「すし店」「料理店」4.6%となっています。前年同期を上回った業種はありませんでした。

図Ⅱ-1-② 業種別設備投資実施割合の推移(飲食業を除く)



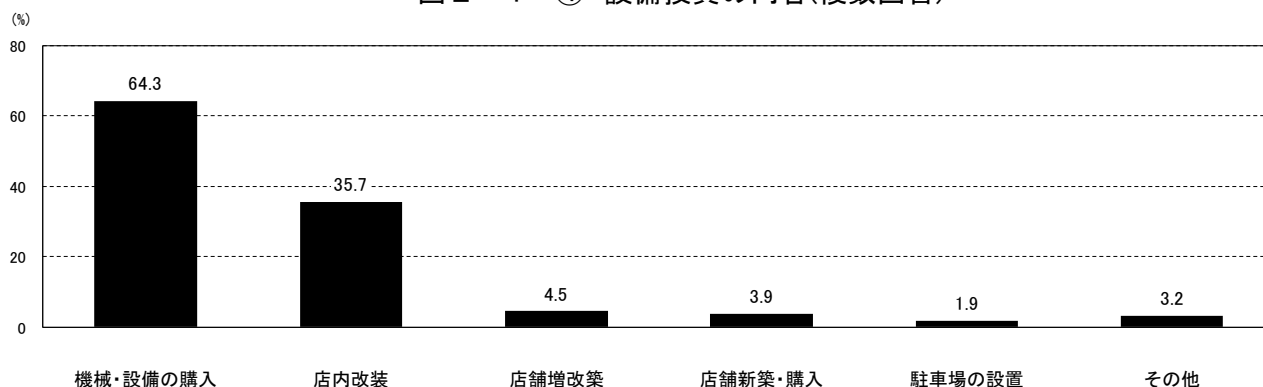
図Ⅱ-1-③ 飲食業設備投資実施割合の推移



(2) 設備投資の内容

- 設備投資の内容は、「機械・設備の購入」64.3%、「店内改装」35.7%、「店舗増改築」4.5%の順となっています。

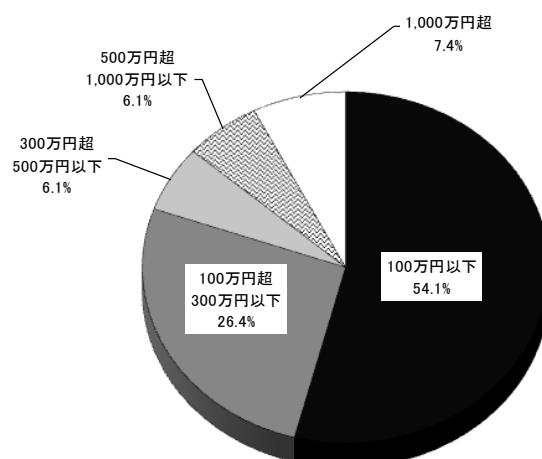
図Ⅱ-1-④ 設備投資の内容(複数回答)



(3) 設備投資金額

- 設備投資を行った企業の投資金額をみると、「100万円以下」54.1%、「100万円超～300万円以下」26.4%、「300万円超～500万円以下」6.1%となっており、500万円以下の小口投資が86.5%を占めました。
一方、「500万円超～1,000万円以下」6.1%、「1,000万円超」7.4%となっています。

図Ⅱ-1-⑤ 設備投資金額



事業を営む皆さまの経営に役立つ情報が満載！

事業者サポートマガジン好評配信中！！

「事業者サポートマガジン」は、日本政策金融公庫 国民生活事業がお届けする「事業者向けメールマガジン配信サービス」です。事業を営む皆さまに、月1回、経営に役立つ情報や公庫からのお知らせをお届けします。

ご登録は、無料！日本公庫ホームページ(<http://www.jfc.go.jp/>)にアクセス！！

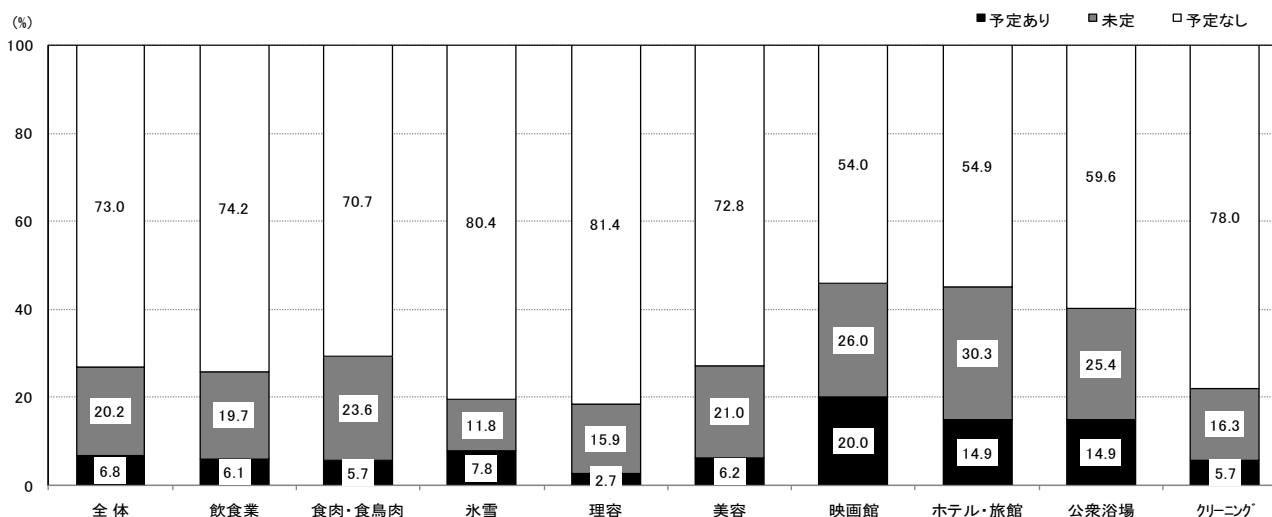
(日本公庫トップページの「シミュレーション・各種お申込み」⇒「メール配信サービス」⇒「事業者サポートマガジン」からご登録いただけます。)

2. 来期以降1年間の設備投資計画

(1) 計画の有無

- 来期以降1年間の設備投資計画については、「予定あり」6.8%、「未定」20.2%、「予定なし」73.0%となっています。「予定あり」の企業割合は前期から 0.1 ポイント低下、前年同期に対しては 1.1 ポイント低下しました。
- 設備投資を「予定あり」とする企業を業種別に高い順にみると、「映画館」20.0%、「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」14.9%となっています。

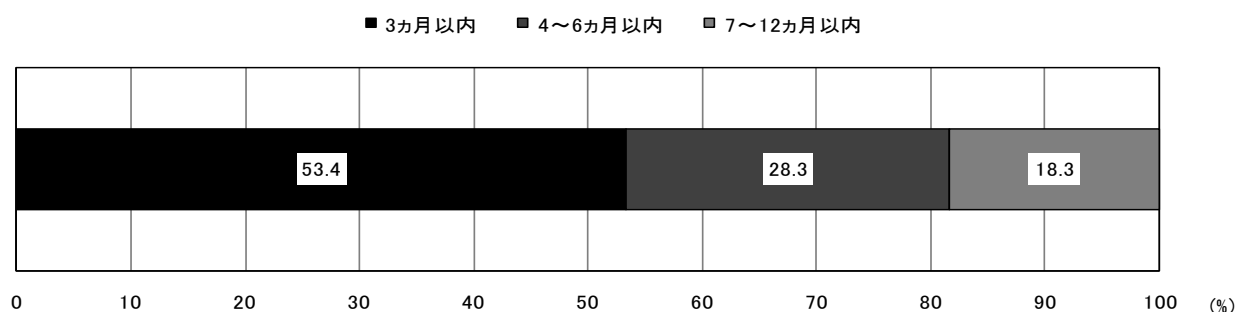
図Ⅱ-2-① 来期以降1年間の設備投資計画の実施予定割合(業種別)



(2) 設備投資の実施予定時期

- 設備投資計画で「予定あり」と回答した企業について、実施予定時期をみると、「3ヵ月以内」53.4%、「4～6ヵ月以内」28.3%、「7～12ヵ月以内」18.3%となっています。

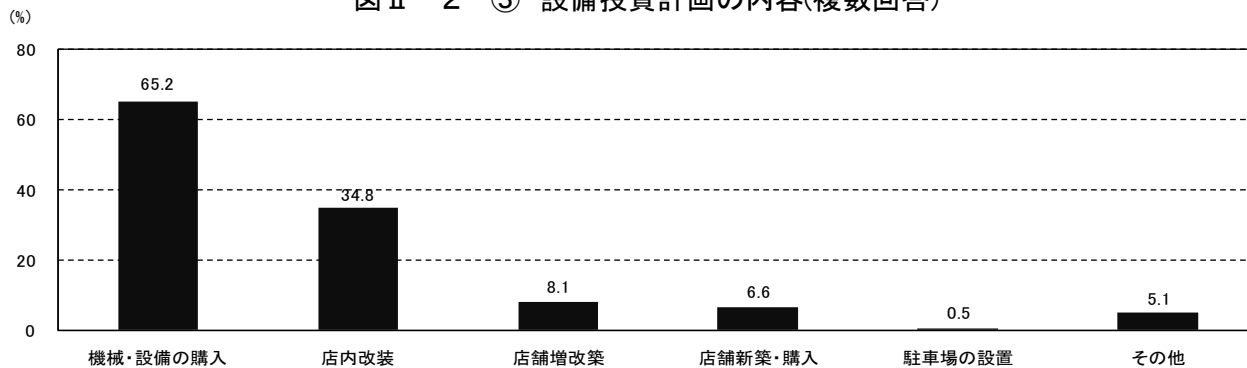
図Ⅱ-2-② 設備投資計画の実施予定時期



(3) 設備投資計画の内容

- 設備投資計画の内容は、「機械・設備の購入」65.2%、「店内改装」34.8%、「店舗増改築」8.1%の順となっています。

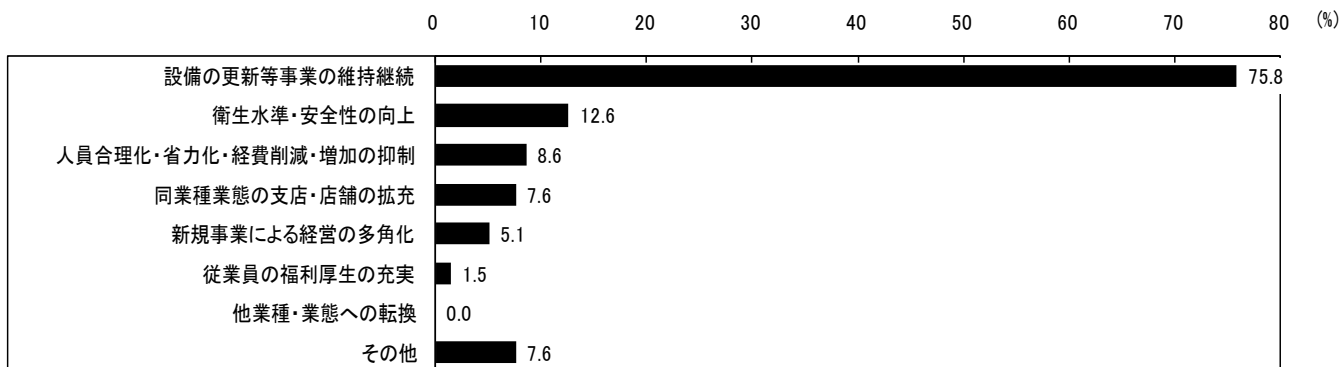
図Ⅱ-2-③ 設備投資計画の内容(複数回答)



(4) 設備投資計画の動機

- 設備投資計画の動機は、「設備の更新等事業の維持継続」75.8%、「衛生水準・安全性の向上」12.6%、「人員合理化・省力化・経費削減・増加の抑制」8.6%の順となっています。

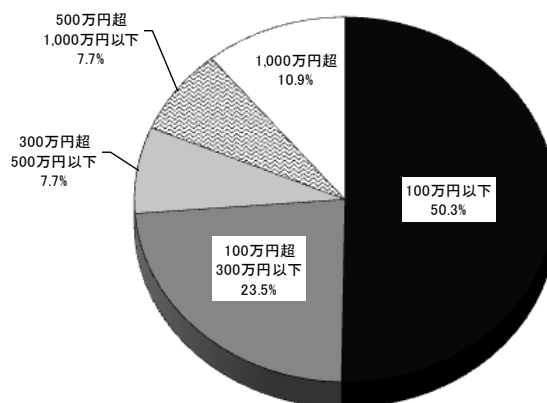
図Ⅱ-2-④ 設備投資計画の動機(複数回答)



(5) 設備投資予定金額

- 設備投資予定額は、「100万円以下」50.3%、「100万円超～300万円以下」23.5%、「300万円超～500万円以下」7.7%となっています。500万円以下の小口投資は、全体の81.4%を占めています。

図Ⅱ-2-⑤ 設備投資予定金額



Ⅲ 経営上の問題点

- 経営上の問題点で多いものを順にみると、「顧客数の減少」64.5%、「客単価の低下」32.7%、「仕入価格・人件費等の上昇を価格転嫁に困難」19.3%、「店舗施設の狭隘・老朽化」19.2%、「後継者難」8.4%となっています。
- 飲食業の7業種を含む15業種全てで「顧客数の減少」を第1位としてあげており、高い順に「理容業」78.3%、「公衆浴場業」71.1%、「社交業」71.0%となっています。

表 経営上の問題点(業種別、2013年1～3月)

(%)

項目	顧客数の減少	客単価の低下	転等仕 嫁の困 難上 格を ・人 格に 費	老 店 朽 化 施 設 の 狭 隘 ・	後 継 者 難	従 業 員 の 確 保 難	事 業 資 金 借 入 難	そ の 他	特 に 問 題 な し
業種合計	64.5	32.7	19.3	19.2	8.4	7.5	4.2	2.1	9.4
飲食業合計	61.4	32.5	24.5	18.1	7.8	8.9	4.9	1.3	8.8
そば・うどん店	60.5	27.6	36.2	17.3	8.6	8.6	5.4	3.2	6.5
中華料理店	53.5	37.2	27.3	21.5	5.2	9.9	4.7	1.2	9.3
すし店	66.7	36.3	22.2	15.8	8.2	5.8	6.4	0.0	6.4
料理店	62.4	45.9	17.4	17.4	9.2	9.2	9.2	1.8	6.4
喫茶店	54.9	16.8	32.6	26.1	10.3	5.4	1.6	1.1	13.6
社交業	71.0	39.5	11.1	7.4	8.6	11.7	4.9	1.2	10.5
その他飲食店	61.8	31.9	22.7	18.8	6.5	10.2	4.4	0.9	8.3
食肉・食鳥肉販売業	60.0	40.0	17.9	20.0	16.4	2.1	3.6	0.0	11.4
氷雪販売業	62.7	35.3	19.6	7.8	15.7	3.9	0.0	5.9	11.8
理容業	78.3	31.8	8.0	15.3	10.1	3.7	3.7	2.8	8.9
美容業	66.6	31.9	7.8	15.0	6.5	11.4	3.6	2.6	13.7
映画館	55.1	14.3	8.2	32.7	0.0	12.2	4.1	8.2	18.4
ホテル・旅館業	57.1	30.3	14.3	44.6	8.6	7.4	5.7	3.4	5.1
公衆浴場業	71.1	9.6	28.1	39.5	6.1	1.8	2.6	3.5	9.6
クリーニング業	67.8	49.3	26.0	8.4	9.7	4.0	2.6	2.6	6.2

(注)複数回答のため合計は100を超える。

IV 特徴的な業況判断理由(業種・地域別)

今期及び来期見通しの業況に対する判断理由（地域経済、業界の特徴及び経営面での取り組みを含みます。）について、特徴的なものを取りまとめると次のとおりです。

今期：2013年1～3月期 来期：2013年4～6月期

◆飲食業

業種	業況	地域	判断理由
そば・うどん店	今期	好転	高知県 政権交代により特に年配層を中心に消費マインドに変化があった。
		不変	群馬県 クーポン雑誌等に広告を掲載し、月毎にオススメに変化を出している。
		悪化	秋田県 例年にない大雪や寒波が続き、来客数が減少した。
	来期見通し	好転	和歌山県 ゴールデンウィークがあるので来客が少しは増え、売上も伸びる。
		不変	宮崎県 売上の低下に歯止めをかけるため、ワンコインランチを始めた。
		悪化	鳥取県 電気業界や土木業界が悪化しており打つ手が無い。
中華料理店	今期	好転	島根県 新メニューを出してから客単価が上がった。
		不変	和歌山県 牛丼店、回転寿司店等の低価格の店舗が多いため、材料をランクアップしたり、分量を多くしたりしてお客様に自店の良さが分かるようにしている。
		悪化	京都府 食品スーパーが増え、外食される方が減った。
	来期見通し	好転	福井県 株価が上がっており、景気が良くなるとの思いがある。
		不変	山口県 客単価を上げるため、低価格で1～2品をプラスするセットメニューを考えている。
		悪化	愛知県 近くに同業種の新店舗（チェーン店）があり厳しい。
すし店	今期	好転	大阪府 接客に力を入れている。また、インターネット等を活用した効果が数字に表れている。
		不変	北海道 一品料理を増やすなど、ランチのメニュー数を増やした。
		悪化	鹿児島県 県外資本の回転寿司が増えたため個人店ではやっていけない。スケールが大きく到底競えない。出前に力を入れている。
	来期見通し	好転	愛知県 地域にスポーツセンター、私立の小学校が出来たため、人の流れが増えた。当店の寿司のセンスをお客様に喜んでもらっている。
		不変	福井県 儲けを考えずに内容重視で営業すれば、必ずお客様に来店してもらえると思っている。
		悪化	秋田県 個人の寿司店は高いという偏見がある。その偏見をなくしてもらう必要がある。
料理店	今期	好転	大阪府 地域の新年会が2月まで続いていたため好転した。
		不変	静岡県 先行きの不透明感が根強くあり、客単価が伸びない。経営面では仕入の量を少なめにして経費を抑えている。
		悪化	新潟県 うなぎ専門店であるが、品不足による値上がりで全く売れない。
	来期見通し	好転	京都府 観光、歓迎会シーズンであり好転する。
		不変	高知県 政権交代により明るい兆候がみられると思う。経営面での工夫としては、健康面の関心が高い年代に向けた材料や献立を考案中である。
		悪化	愛媛県 4～6月は行事が少ない。メール会員等も増やし、特典を付けている。

喫茶店	今期	好転	兵庫県	フェイスブックを開始した。近くに新しい店が数店出来たため、人通りが増えた。
		不変	長崎県	昼のサービスランチでは男性客が減少し、女性中心になりつつある。
		悪化	北海道	大雪、寒波の影響やガソリン価格の高騰により車での来客が減少した。
	来期見通し	好転	群馬県	自家栽培の有機野菜をバイキング形式にしたことにより集客はアップしている。期待を含め、好転を見込んでいる。
		不変	香川県	転勤される方の増減が多少あるものの、固定客が多くほぼ変わらない。近所の方や知人にはリクエストがあればオードブルや軽食等も提供している。ミーティング等で当店を利用してもらっている。
		悪化	広島県	常連客の高齢化が進み、悪化するばかりである。コーヒーを注文された方にもカラオケが出来るようにしているが、住宅街の路地にあるため、若い方や新規客が入ってくれない状況である。
社交業	今期	好転	新潟県	これまでは2次会での利用が主であったが、1次会からの利用が多くなった。
		不変	大分県	こちらからイベントの企画や集客メール等をあえて行わないことが集客につながっていると思う。
		悪化	福島県	東日本大震災以降、若い方が街にいなくなり、客足はますます減っている。
	来期見通し	好転	奈良県	新たに優秀な人材を確保するため、時給を上げて募集する予定である。
		不変	福井県	今は固定客が減らないように努力した方がいいと思う。新規客は中々確保することができない。
		悪化	熊本県	従業員を減らさざるを得ない状況である。気力も薄れている。
その他飲食店	今期	好転	長崎県	今年は市が観光への投資を大幅に増やしている。ランタンフェスタは前年より人出が多く、その波及効果があった。
		不変	広島県	鮮魚の仕入先を増やすことにより、より安全で良いものを選択できるようにした。
		悪化	奈良県	サラリーマン層の来店頻度が減り単価も減少している。家族連れや年配層、学生等まで営業ターゲットを広げ、子供や学生向けサービスを強化している。
	来期見通し	好転	秋田県	女性向けのメニューを工夫している。職場での歓送迎会や町内総会で利用してもらうため、案内している。また、フェイスブックを活用することにより売上の増加を見込んでいる。お客様の好む食べ物を伺い、宴会メニューに取り入れている。
		不変	福島県	除染作業の方が泊まり込みで仕事をしており、利用してもらっている。避難されている方が近くにおられるため、出前や宴会を格安でサービスし、売上を伸ばしたい。
		悪化	鳥取県	公務員のお客様が多いが、給料が減り飲みに来られない。

◆食肉・食鳥肉販売業

業種	業況	地域	判断理由	
食肉販売業	今期	好転	高知県	牛レバー、ユッケが食べられなくなり、馬刺しの売上が伸びている。
		不変	神奈川県	商店街に活気がない。客単価が減少している。取り組みとしては、価格を可能な限り下げている。また、店頭で惣菜の日替りサービス品を置いている。
		悪化	岡山県	小売は横ばいであるが、外食産業への納品が減少傾向にある。
	来期見通し	好転	栃木県	お花見の時期は多少好転する。
		不変	鹿児島県	円安で輸入肉が高くなるため先行きが不透明である。
		悪化	石川県	近くに新しいスーパーや大型店ができたため、若い方はそちらに行ってしまう。常連のお客様は高齢化で来店が少なくなった。

食鳥肉販売業	今期	好転	宮崎県	野球やサッカー等のキャンプ開催により、県外の顧客が増加した。
		不変	福岡県	加工面で独自のアイデア商品をつくるなど、新商品に挑戦している。
		悪化	山梨県	日中関係の悪化とトンネル崩落事故の影響で観光客が減少した。
	来期見通し	好転	東京都	暖かくなり、ビールのつまみに焼き鳥を買う方が増えると思う。
		不変	兵庫県	仕入価格が低下せず、年末時の高値で推移している。
		悪化	京都府	季節柄、暑くなると需要が減るため、加工品に力を入れている。

◆氷雪販売業

業種	業況	地域	判断理由	
氷雪販売業	今期	好転	宮崎県	例年、10～12月に比べ1～3月の取扱量が多い。
		不変	北海道	水産関係で氷の需要があった。
		悪化	岡山県	顧客の9割以上は飲食店である。12月はイベント等で少し良かったが、年明け以降はイベント等もなく業況は悪い。
	来期見通し	好転	新潟県	暖くなるため、氷の注文が入る予定である。
		不変	熊本県	政府により景気対策が取り組まれているが、中小企業の景況に結果が表れるまでには時間がかかると思う。
		悪化	大阪府	氷、ドライアイスを販売しており冬期は売上が少ない。顧客が自社で氷等を調達されるので、毎年売上が減少している。

◆理容業

業種	業況	地域	判断理由	
理容業	今期	好転	島根県	来店されるお客様の紹介により、少しずつではあるが認知されてきた。
		不変	群馬県	常連客を大切にしている。お店でゆっくり休んでいってもらっている。
		悪化	福岡県	来店サイクルが長期化している。
	来期見通し	好転	宮城県	店内を改装したため新規客が増える見込みである。
		不変	長野県	地域の製造業者は中小零細企業が多く、不況が続く中、資金が回っていないようだ。飲食業や小売業も同様である。ホームページを立ち上げ、自店の特徴やメニューを紹介し、特典等を掲載することにより、新規客を呼び込みたい。
		悪化	岐阜県	顧客の高齢化が進み、来られなくなる方もいる。

◆美容業

業種	業況	地域	判断理由	
美容業	今期	好転	長崎県	呉服屋と提携しており、成人式で来店される方がいた。
		不変	山形県	インターネットの検索サイトでの広告やクーポン券の発行等で新規客の獲得を目指しているが、効果はそれ程上がっていない。
		悪化	山梨県	成人の減少等により昨年に比べ着付け等が少なかった。
	来期見通し	好転	群馬県	春になると髪のデザインの変化を希望する方が増える。パーマやカラーをプラスして単価のUPを図りたい。
		不変	栃木県	看板広告等を利用して、店の認知度を高めたい。
		悪化	千葉県	悪化すると思う。お客様に次回に繋がるアプローチをし、サイクルを意識してもらおう。また、新しいスタイルにチャレンジしてもらえるようにする。

◆映画館

業種	業況	地域	判断理由	
映画館	今期	好転	北海道	興行収入が見込める作品を上映することが出来た。
		不変	山梨県	若い層は足踏み状態であるが、60才以上のお客様が少し増えている。経営の無駄を省き、役員報酬や人件費を削減して6ヶ月経過し、付随する税金が減ったところである。
		悪化	青森県	デジタル化によりフィルム作品が減少している。
	来期見通し	好転	愛知県	集客力のある上映番組が予想される。
		不変	長野県	作品次第のため、先行きは分からないが、悪化しないよう宣伝に力を入れている。
		悪化	福井県	若者の映画離れが進んでいる。スマートフォンでの動画配信により、消費環境が変化している。

◆ホテル・旅館業

業種	業況	地域	判断理由	
ホテル・旅館業	今期	好転	茨城県	僅かではあるが日帰りの入浴客が増え、食事もされるようになった。また、週末には人が市内に多く出掛けるようになってきた。簡易ドリンクバーとして、バリスタを導入したことにより、客単価が少し上昇した。
		不変	神奈川県	経営面の工夫としては、リネン関係やベッドメイクを清潔にしている。挨拶の教育を大切にしている。
		悪化	福岡県	中国等の外交問題で観光客が減少した。
	来期見通し	好転	山形県	4/27～5/31の期間に、立石寺、根本中堂の御本尊、薬師如来像が50年ぶりに御開帳されるので、例年よりはお客様が増える。
		不変	徳島県	お客様は固定客が多い。最近はインターネット経由のお客様が増えた。
		悪化	静岡県	食材等の仕入価格が上昇しているが、宿泊料金は上げることができない。大手の旅館やホテルが安価で団体を受け入れている。

◆公衆浴場業

業種	業況	地域	判断理由	
公衆浴場業	今期	好転	東京都	近くの銭湯が休業しており、その顧客が増えた。
		不変	神奈川県	チラシの配布、タウン誌への広告の掲載、クーポンの配布などの努力をしているが効果はみられない。顧客は大型の健康センター等を利用している。
		悪化	三重県	原油価格が値上がりしているものの、入湯料は上げることができず業況は悪化している。デイサービスを利用する方が多くお客様が減少した。
	来期見通し	好転	愛媛県	1～3月の寒い時期は燃料代がかなり掛かるが、4～6月は暖かくなり、燃料代が冬期ほどかからない。
		不変	大阪府	休憩室の椅子を張り替えたり、掃除を徹底して行ったり、お客様が寛げるようにしている。他店に比べてきれいであると評判が良い。
		悪化	鹿児島県	敬老パスの駆け込みでの使用が年度末で終わるため、4月からは利用が減少する。

◆クリーニング業

業種	業況	地域	判断理由	
クリーニング業	今期	好転	千葉県	ホテル関連の仕事が増えた。
		不変	福井県	老人ホーム等のリネンが対象であり、変化はない。
		悪化	宮崎県	顧客の減少に加えて、油代・材料費が上がっている。
	来期 見通し	好転	島根県	春は最も忙しい時期である。今年はお客様の目先を変えるようなセールを予定している。また、当店は転勤者のお客様も大変多く、新規客の獲得に力を入れている。集配の方も少しずつ出るのでないかと期待している。
		不変	高知県	4～6月期は冬物から春夏物への衣替えの時期となり一番の繁忙期となる。売上も少しは良くなるが、仕入価格や人件費等が高騰しており業況は変わらないと思う。
		悪化	秋田県	家庭で洗える繊維が多くなっている。景気が悪く、クリーニングの利用が落ち込んでいる。